

2020年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010104

1. 計画名称

茅野市障害者保健福祉計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	各事業についてはニーズのある利用希望者に対し実施しているが、事業を継続していくための人材の確保等課題がある事項や、今後も継続して検討を重ねていく事項あり。広域的に取り組んだほうがよい事業について6市町村と関係機関で検討し、2021年度から実施することとなった。
今後の重点化施策番号	2	説明	障害者の社会参加のためには移動支援は重要である。地域を基盤とした自立した生活が送れるよう、茅野市新地域公共交通検討会や外出支援WGの中で障害者も利用しやすい仕組み作りができるよう取り組んでいく。移動支援の課題を中心に災害時の支援体制など取り組んでいく。市単独では解決が難しい事項については諏訪地域の自立支援協議会で検討していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自己実現と社会参加への支援	おおむね順調	成年後見人等の受任調整を諏訪地域6市町村内で行えるよう、6市町村及び3成年後見支援センターで会議を3回開催しました。R3年度から、受任調整会議を広域として開催することとなりました。	成年後見制度の申請者が増えてきていますが、後見人等が不足しています。専門職の数にも限界があり、諏訪地域内で専門職の後見人の調整が急務となっています。	受任調整会議のほか市民後見人の広域での育成について、引き続き、諏訪地域6市町村と諏訪地域内の3成年後見支援センターで連携し協議を進めて行きます。
2	地域を基盤とした自立生活の支援	おおむね順調	児童のサービスと就労系サービスの利用者数が増加しており、当事者の自立した生活を支援しています。令和2年度に就労継続支援A型、グループホーム、相談支援事業所が1ヶ所ずつ増えました。新型コロナウイルス感染拡大により、一時的に事業所が休業する等の影響がありました。	障害福祉サービス利用者が増加していますが、障害福祉サービス事業所や相談支援専門員は増加に対し人材が不足しています。人材不足について諏訪地域でも課題となっています。	・障害福祉サービス事業所や相談支援専門員の不足については諏訪地域共通の課題です。人材育成について諏訪地域障がい福祉自立支援協議会で協議を継続しており、協議会を通じ協働して取り組んでいきます。
3					
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	障害福祉部会	現在、諏訪圏域内で重症心身障害者のグループホームが1ヶ所しかなく少ない。障害福祉の分野が発展していけるように、サービス事業所設置の認可を受けたら補助金も出るような仕組みがあるとよい。福祉21茅野の部会再編によるWGでは高齢者の話題がメインで、障害分野の話題はあまり話されていない。WGのメンバーの中に障害福祉部会のメンバーが少ない。	障害福祉部会で出された課題でWG以外の課題があれば幹事会にはかり協議する場の検討を行いたい。また、諏訪地域自立支援協議会とも連携しながら課題の解決に向けて取り組んでいきたい。
開催回数	1		
参加延べ人数	9		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」